



Aug. 2026 Vol. 289

東京都中央区日本橋本町4-9-2 本栄ビル9階
TEL 03(5643)5321 FAX 03(3664)6470

<https://www.jfa-tanzo.jp>
e-mail: forging@jfa-tanzo.jp

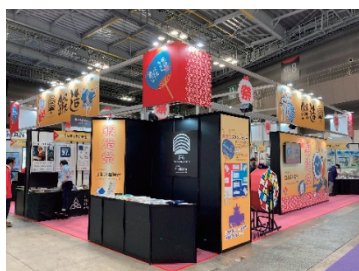
一般社団法人日本鍛造協会
編集発行 広報委員会



来年、2027年6月23日(水)～26日(土)東京ビッグサイト東ホールにて開催されるMF-TOKYO2027(第9回プレス・板金・フォーミング展)に鍛造ゾーンを出展することといたしました。

展示企画実行委員会において前回以上に集客が期待できるイベントを企画いたしますので、ぜひ、出展をご検討ください。(会員の皆様には2027年2月頃募集を予定しています。)

■ 前回の様子



委員会開催報告

■第53回 NL委員会

- 開催日：8月4日(火)15:00～
会 場：一般社団法人日本鍛造協会 会議室
議 題：1. 今後の委員会方針(テーマについて)
2. 国内工場見学について

■第47回 技術研究委員会

- 開催日：8月5日(水)15:00～
会 場：名古屋国際センター 第5会議室
議 題：1. 令和8年度活動計画
(新体制での方針、重点課題について)
2. 技術ウェビナーについて
3. 工場見学について(場所、時期)
4. 広報誌JFAへの技術系記事提供
輪番・役割分担について

日本鍛造協会 今後の行事予定

第74回理事会	令和8年9月25日(金)
at. 新潟	
第75回理事会／表彰式	令和8年11月18日(水)
at. KKRホテル東京	
令和9年賀詞交歓会	令和9年1月22日(金)
at. KKRホテル東京	
第76回理事会	令和9年3月下旬
at. 未定	

MANYO

ビレットシャー 30TON～1300TON

フォーミングロール FR120～FR960

プレス 50TON～3000TON

アブセッター 200TON～2300TON



Tel 06-6458-0481

人材育成事業報告

◆令和8年度鍛造マネージャー育成塾成コース 「科目4 工具と潤滑」実施

去る7月21日(火)～22日(水)に名古屋工業大学(愛知県名古屋市)において実施しました。本科目は、鍛造の型材料と潤滑剤について学術的な知識を学び、潤滑や型の面から日常課題を考えることを学習のねらいとしています。

1日目は、鍛造における摩擦・潤滑・摩耗のメカニズムや金型・工具材料、熱間・冷間鍛造用潤滑剤について座学講義を行ったあと、本科目のテーマに関連する日常課題とその対策案をグループに分かれて討議し、課題解決の考え方を学びました。

2日目は、潤滑油と摩擦に関する3種の試験実習(冷間リング圧縮試験、冷間ボール通し試験、熱間リング圧縮試験)を行い、2日間の講義で学んだ内容を使用しながら試験結果を考察・発表するグループワークを実施しました。



◆令和8年度鍛工品製造業実践型人材養成コース 「教科4 鍛造設備」実施

去る7月2日(木)～3日(金)、テクノプラザおおた(群馬県太田市)において実施しました。

製品の特性に応じた鍛造機を選択できるよう、鍛造機械の分類やエネルギー、ハンマ・機械プレスの特徴や種類、モーションの違い、それぞれがどのような成形に適しているかなど、現場で活用するためのコツを実践的に学びました。

図やテキストだけでなく、実際に見ることが難しい鍛造機内部の構造を紹介する3D映像や機械の動きがわかる動画を多く用い、鍛造設備への理解をさらに深めました。

3日(金)午後は、株式会社イチタン本社工場(群馬県太田市)を訪問し、鍛造品の生産工程を見学しました。鋼材の切断から、加熱、プレス(4500T自動プレス、3800T高速自動ロングストロークプレス他)、トリミング、熱処理、ショットブラスト、検査と熱間鍛造の生産プロセスフローを網羅する貴重な見学となりました。また、5Sをはじめ、独自の安全衛生や現場管理も併せて見学でき、現場改善につながる多くの気づきを得ることができました。



令和8年度 オンライン生産性向上支援訓練 開催報告

独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構の委託事業であるオンライン生産性向上支援訓練の第2回を下記のとおり開催し、35名が受講しました。

第2回 『生成AIの活用』

〔開催日〕 7月28日(火) 10:00～17:00

〔講師〕 (株)日本マネジメント・リサーチ
講師 入澤俊介氏

〔内 容〕

1. 生成AIの概要
 - (1) 生成Aiの仕組みとビジネス利用の基礎
 - (2) 情報セキュリティと利用上のルール
 - (3) (演習) 生成Ai体験ワーク
2. 生成AIの活用事例と今後の展望
 - (1) BtoB・製造現場における活用事例
技術伝承・ノウハウをAIでマニュアル化
 - (2) (演習) 生成AIを活用したミニアプリの作成
 - (3) (演習) グループワーク自社におけるAI活用
のロードマップ策定

〔参加者の感想〕

- ・今回の講義を通じて、生成AIで手順書を作成してベテランから若手への技術の伝達をスムーズに伝えられるようにしていきたい。
- ・海外工場の作業者に対し指導をする際、紙の作業標準だけでなく動画での指導も実施していく予定のため、今回の動画作成方法や、プロンプトの作り方はとても参考になった。
- ・不具合、不良の対策に対して集計後に一括でAI処理を行うことにより、問題点の洗い出しや傾向と対策などに活用できると感じた。
- ・AIに関して丁寧な説明があり、分かりやすく、質問にも多く答えていただき、理解が深まった。
- ・ノーコードで作業日報の様式やアプリの生成についても講義の中で紹介されており、すぐに自業務に役立つ内容であったと感じた。データの収集からデータ分析まで一貫して管理できるようにさらにAIの知識を身につけていきたい。

今後の予定

第3回 9月16日(水)

『RPAを活用した業務効率化・コスト削減』

第4回 10月16日(金)

『リスクマネジメントによる損失防止策』

第5回 11月27日(金)

『現場社員のための組織行動力向上』

第6回 1月26日(火)

『職場のリーダーに求められる統率力の向上』